

裏磐梯温泉センター

Ura Bandai Onsen Center
(福島県北塩原村)



本日は、4:00に東京を出発し、8:30に猫魔スキー場へやってきた。猫魔スキー場は猫魔ヶ岳の北斜面に位置し、整地バーンより非圧雪バーンが豊富にあり、パウダー好きにはたまらないゲレンデである。昨シーズンはどこのスキー場も雪不足に悩まされたが、今シーズンはそれなりに雪があっという。

13:00には早々にスキーを切り上げ、温泉へ。今回紹介するのは猫魔スキー場への道中にある裏磐梯温泉センターである。駐車場に着いてみると、広い駐車場に3台くらいしか車が駐車していない。定休日だろうか心配したが、そうではなかった。ちょうど納入の業者が忙しそうに夕食の食材を運び込んでいる。裏磐梯温泉センターは日帰り入浴が可能な宿泊施設なのである。

下駄箱のカギと入浴料をフロントで差し出し、脱衣室のロッカーのカギに交換する。脱衣室に入ると、取材班以外に客が1人しかいないことに気づく。ほぼ貸し切りである。脱衣室にはロッカーが48個、脱いだ物を入れる籠が24個、冷水器、洗面台3個があり、綿棒、ハンドソープ、櫛、ドライヤー等のアメニティーがそろっている。

浴室はやたらと広い。座る場所がたくさんあり、長居ができるようになっている。洗い場は11か所。リンスインシャンプーとボディソープは完備している。カランの水圧は少々物足りない。他にシャワーブース1か所、ブースではないがシャワーが2か所ある。

湯船は巨大で30人はつかれる大きさである。中央に女性が水くみをしている像があるが、福島とも温泉とも関係はなさそうである。湯は無色透明で、湯温は適温である。

サウナは定員6人で、室温90℃。取材班以外に先に入っていた唯一の客はサウナに寝そべっていたが、取材班がサウナに入ってくると起き上がってさらにねばっている。しかし、砂時計の砂が落ち終わると、

きっちりと外へ出て行った。常連客の邪魔をしてしまったかもしれない。

ちなみに、裏磐梯温泉センターの湯はナトリウム・カルシウム-塩化物温泉（低張性アルカリ性高温泉）で、筋肉または関節の慢性的な痛みまたはこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息または肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害など）、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、抹消循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症などに効くという。

明日は猫魔ヶ岳の南側、このエリア最大規模のスキー場であるアルツ磐梯を滑る。

DATA

名称	裏磐梯温泉センター
所在地	福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯 1093-360
電話	0241-23-7200
営業時間	12:00~20:00
定休日	火曜日
入浴料	大人 700 円、小学生 400 円、宿泊者は無料
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2020 年某月某日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	猫魔スキー場、裏磐梯スキー場